

日本仏教協会代表が国際仏教フォーラム参加の訪露

— 日本人僧侶として初の公式参加、ロシア政府・各国代表より高い評価 —

一般社団法人日本仏教協会（代表理事：中根善弘）は、2026年8月16日（日）から21日（金）まで、日本財団笹川陽平名誉会長、ならびに外務省在ロシア日本国大使館の推薦・招待を受け、日本人僧侶として初めて国際仏教フォーラムに公式参加するため、ロシア連邦を訪問いたしました。今回の公式参加は、日本仏教界として初の歴史的な事例であり、日露両国の宗教・文化交流の深化に向けた重要な一歩となりました。

訪露期間中は、モスクワおよびトゥヴァ共和国キズイルを訪れ、ロシアにおける仏教文化・宗教事情への理解を深めるとともに、現地の仏教関係者、学術機関、文化団体、行政関係者との意見交換を通じ、今後の協力可能性について幅広い議論を行いました。



■ フォーラムでの公式発表と国際社会からの高い評価



中根は、フォーラムにおいて以下の2つの公式プレゼンテーションを行い、参加者から大きな注目を集めました。

- 「仏教と国家の文化的価値がどのように観光とホスピタリティーの発展に貢献できるか」に関するプレゼンテーション
- 東洋医学と仏教思想の関連性に関するプレゼンテーション

これらの発表は、仏教思想を基盤とした文化理解の促進、ならびに伝統医学と精神性の統合的アプローチに関する新たな視座を提示するものであり、

- ロシア政府関係者
- ロシア仏教界の高僧
- 各国代表者

より高い評価と賛辞が寄せられました。

特に、仏教を通じた文化間対話の可能性については、国際社会が直面する分断や対立を乗り越えるための有効なアプローチとして注目され、日露仏教交流および日露文化交流の新たな展望を開くものとなりました。

さらに、モスクワ大学学長より **モスクワ大学講師としての招聘**、および今後設立予定の「**仏教アカデミー**」**名誉教授への就任打診**が行われるなど、学術的連携に向けた具体

的な提案が提示されました。これにより、日本仏教協会とロシア学界との協力関係が、教育・研究の両面で大きく前進する見通しとなっています。



■ 国際仏教フォーラムの概要と議論の広がり

同フォーラムは「文化間対話における仏教 — 人類の未来」をテーマに開催されました。ロシア、モンゴル、インド、中国、スリランカ、カンボジア、ミャンマーなど **13ヶ国以上** の国・地域から仏教者、研究者、文化関係者が参加し、仏教の思想が現代社会の課題にどのように貢献し得るかについて、多角的な議論が行われました。

8月18日には「**仏教と国家の文化的価値がどのように観光とホスピタリティーの発展に貢献できるか**」をテーマとしたセッションに出席し、仏教的価値観が観光振興や地域ホスピタリティーの向上に果たし得る役割について、各国代表者と意見交換を行いました。この議論では、仏教が持つ精神性・倫理観が、観光政策や文化戦略において国際的に高い評価を受けていることが改めて確認されました。

8月19日には **東洋医学セッション** に参加し、仏教と伝統医学、心身の在り方、文化的背景などについて、各国の専門家と活発な意見交換を行いました。このセッションでは、仏教的な心身観が医療・福祉分野において果たし得る役割について、国際的な関心が高まっていることが確認されました。

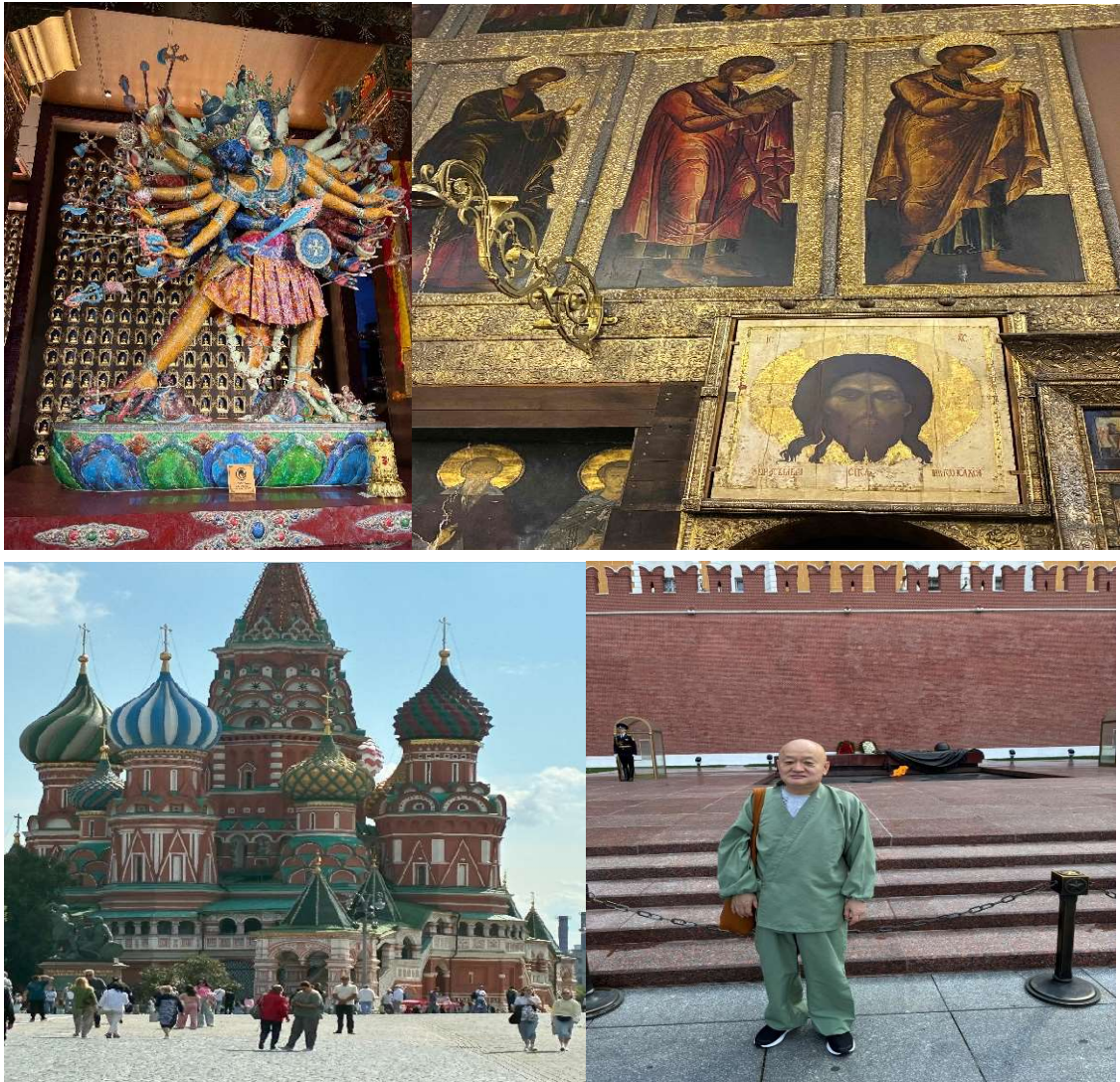


■ ロシアにおける仏教文化の背景と交流の可能性

ロシアには **150 万人以上の仏教徒** が存在し、主に以下の 3 共和国でチベット仏教が広く信仰されています。

- トゥヴァ共和国
- ブリヤート共和国
- カルムイク共和国

これらの地域では、仏教が文化・教育・地域社会の基盤として深く根付いており、日本への友好感情も強いことから、文化・宗教分野における協力の可能性がさらに広がっています。



■ 仏教文化の交流を通じた世界平和の推進

今回の訪露を通じて、日本とロシアの仏教文化の共通点や、地域ごとに受け継がれてきた伝統の特色について理解を深めるとともに、仏教を基盤とした国際交流が平和構築に寄与し得ることを改めて確認する機会となりました。特に、ロシアとウクライナの戦争終結に向けた対話の促進において、宗教者の役割が国際的に注目されており、仏教的価値観が世界中の戦争および戦争による被害者や貧困を無くす、平和的解決に向けた一助となることが期待されています。

■ 訪露概要

期間：2026 年 8 月 16 日（日）～8 月 21 日（金）

訪問者：一般社団法人日本仏教協会 代表理事 中根善弘

訪問先：モスクワ、クイズィル（トゥヴァ共和国）ほか

主な活動内容

- ロシアの歴史・文化施設の視察
- ロシアの仏教関係者との交流
- 参加国との仏教関係者との交流
- 第 4 回国際仏教フォーラムへの参加
- 仏教寺院・仏教文化に関するセッションへの参加